授業科目名・形態	障害児・者福祉　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田　博章	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバリング	C2-2015phtR				

【授業の主題】

「障害」について制度面を含めた理解を深めるとともに、医療的ケア児、強度行動障害など社会的な関心が高まっている「障害」についても理解を深める。さらに、就労支援、ボランティアによる支援など、「障害」のある人々を含め全ての人にとって暮らしやすい社会づくりがどうあるべきかを考え、将来、 看護や福祉の専門職として求められる理念と実践を深める専門知識を修得する。

【到達目標】

1）社会的な関心が高まっている 「障害」 について理解する。
2）障害者施策と支援の仕組みを理解する。
3）「障害」のある人々を含めすべての人にとって暮らしやすい社会づくりについて理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　障害概念と特性　（障害者の定義と特性、国際生活機能分類と社会モデル）
第 2 回　障害者福祉の理念　（障害観の変遷と障害者福祉の理念）
第 3 回　障害者福祉制度の歴史（1）（戦前・戦中までの障害者対策・戦後障害者施策の始まりと展開）
第 4 回　障害者福祉制度の歴史（2）（障害者運動の高まり障害者施策の展開）
第 5 回　障害者福祉制度の歴史（3）（社会福祉基礎構造改革と障害者福祉施策の展開）
第 6 回　障害者の生活実態と社会環境
第 7 回　障害者家族の抱える問題
第 8 回　障害者の生活・社会環境と課題
第 9 回　障害者施策と法制度　　（障害者基本法・障害者自立支援法・障害者総合支援法）
第 10 回　障害者に対する法制度（1）（身体障害者・知的障害者・精神障害者の各福祉法、児童福祉法・他）
第 11 回　障害者に対する法制度（2）（障害者虐待防止法・障害者差別解消法・障害者雇用促進法・他）
第 12 回　障害者福祉における関係機関の役割
第 13 回　障害者福祉における専門職の役割
第 14 回　障害者福祉における相談支援の実際　（虐待相談、就労相談、居住相談）
第 15 回　これからの障害者福祉

【授業実施方法】

講義形式で行う。第 7 回は動画を視聴しリアクションペーパーを提出する。

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回２時間以上行うこと。テキスト、配布資料等の講義予定箇所を読み専門用語概念などについて調べて疑問点を確認しておく。 社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、目を通し自分なりの理解と説明ができる状態で主体的準備をする。講義内容を踏まえ、復習を毎回２時間以上行うこと。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。関連する科目の講義内容で学んだ制度を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】

「社会福祉概論」「社会保障論」「障害者福祉論」

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『障害者福祉　第２版』 中央法規、2025

【参考文献】

随時、 講義の中で紹介する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%・期末試験 60%で総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

社会福祉士・精神保健福祉士・保育士として障害者就労支援施設、障害者グループホーム、放課後等デイサービスでの支援の実践の経験から、障害児並びに障害者を取り巻く環境や障害者福祉政策の課題をソーシャルインクルージョン、地域共生社会の視点から考察していきたい。

【学生へのメッセージ】

本講義では、障害児並びに障害者の生活権、成長発達権、学習権（学校教育・生涯学習）・労働権の確立・保障、合理的配慮という視点から障害者福祉に関する認識を深めていく。見た目問題、ルッキズムにも触れる。